

全国同時七夕講演会

『宇宙と未来と七夕講演会』（奥道後企画）

協賛：日本天文学会、筑波技術大学、愛媛大学

日時：2024年8月31日（土）12:00-21:00

場所：奥道後 壺湯の守 白翁の間

（愛媛県松山市末町267-1）

愛媛県出身または愛媛県で活躍中のアーティスト、実業家、学者によるコラボレーションです。湯の香に包まれ、宇宙とこの地の未来について想いを馳せる晩夏の日をどうぞ。大休憩（入浴時間）を挟んだ夜には同会場にてサイエンスカフェ（出演者との交流会）も開催。参加無料。

- 1) 「ホリィナ アコースティック サマーライブ」
堀川あゆみ（ホリィナ Vo）、稲葉光教（ホリィナ Gt）
- 2) 「街に学問と芸術を」
杉浦綾（スギウラ工房）
- 3) 「母なる太陽の活動、活発化？」
近藤光志（愛媛大学宇宙進化研究センター 特任講師）
- 4) 「太陽と地球をつなぐ太陽風の謎」
徳丸宗利（名古屋大学 名誉教授）
- 5) 「太陽風の受け皿あるいは標的としての地球」
新田伸也（筑波技術大学 准教授）
- 6) サイエンスカフェ（出演者）

・詳細情報と参加予約

Webでの参加予約が必要（右QRコードまたは下記URLより）

<http://tsukuba-invest.sakura.ne.jp/tanabata2024/>

・問い合わせ先：新田伸也（筑波技術大学：世話人）

e-mail: hojo.kashima.ehime@gmail.com

・全国同時七夕講演会ウェブサイト

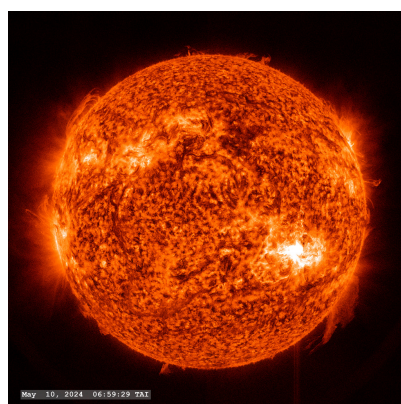
<http://www.asj.or.jp/tanabata/2024/>



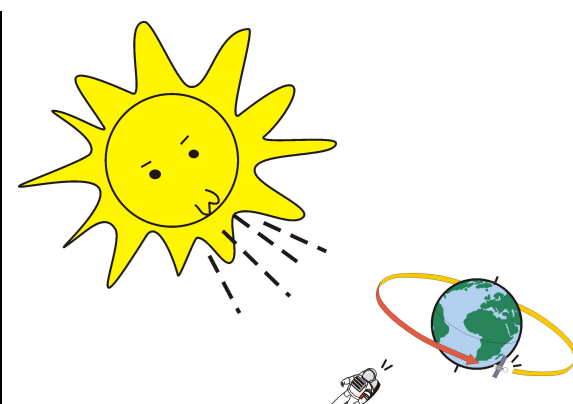
壺湯の守 翠明の湯



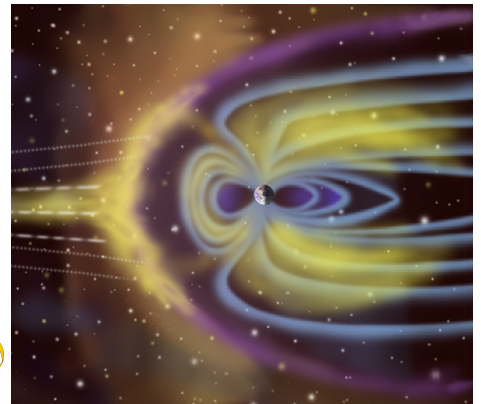
スギウラ工房作品



太陽フレア(NASA)



太陽風（徳丸氏）



地球磁気圏(Wikipedia)

<要旨> 一般向け講演です！

1)「ホリィナ アコースティック サマーライブ」

夏に聴きたくなる曲、星空を眺めながら聴きたくなる曲を中心にギター&ボーカルでお届けします。

2)「街に学問と芸術を」

愛媛県の伝統工芸品である砥部焼制作を本業とする夫婦がひょんなことで入居することになった松山市中心部の古いビル。ここで始めた学問と芸術を楽しむためのエンターテイメント空間「学と芸 七分」でのイベントの様子を写真や宣伝用デザインを紹介しながらお話しします。

3)「母なる太陽の活動、活発化？」

地球で我々がこうして生活できるのも、太陽の恵みのおかげであることは、皆さんもご存知の通りです。もちろん、ぢりぢりと照り付ける紫外線には私も辟易しています。一方で、ニュースにもなりましたが、このところ太陽の活動が活発になり、各地でオーロラが見られたと大騒ぎになりました。しかしながら、この太陽活動と我々の感じる太陽からの照り付けとはほぼ無関係なのです。つまり、この活動により太陽からの紫外線が増えているわけではないので、それで太陽を責めるのは可哀そうです。ならば、この太陽の活動とはいったい何なのか？について、本講演では紹介したいと思います。

4)「太陽と地球をつなぐ太陽風の謎」

地球周辺の宇宙空間は真空と言われますが、実は空っぽではなく太陽から噴き出した電離したガス（プラズマ）の流れで満たれています。この流れは太陽風と呼ばれます。太陽風は希薄なため、その流れを地上から見ることは難しいのですが、地球周辺の宇宙空間の状態（宇宙天気）に大きな影響を与えています。太陽風がもたらす宇宙天気の乱れは電力や通信といった現代の社会基盤に障害をもたらす可能性があるため、その予報が必要になっていますが、今のところ宇宙天気の正確な予報は困難です。それは太陽風に関して多くのことがよくわかってないからです。本講演では、宇宙天気の予報を困難にさせている太陽風の謎について解説します。

5)「太陽風の受け皿あるいは標的としての地球」

地球および我々地球人類は、太陽からの様々な恵みを受けています。太陽光が地球に運ぶエネルギーは、人類が要するエネルギーより約3千万倍も巨大です。これはまさに「目に見える太陽との絆」です。しかし、今日のプラズマ宇宙物理学は、「目には見えない太陽との絆」の存在も明らかにしました。この目には見えない絆は、エネルギーで言うなら太陽光よりもずっと小さいですが、非常に多様な現象を引き起こすことがわかっています。本講演では、「目には見えない太陽との絆」が地球で引き起こす、魅力的だけれども、時折人類の高度文明にとって極めて危険な現象について解説します。

<出演者紹介>

堀川あゆみ（ホリィナ Vo）、稲葉光教（ホリィナ Gt）

共演したステージにて、空き時間の穴埋めとして一緒に歌ったのがきっかけで、結成した昭和なコンビです。ギターの稲葉とボーカルの堀川の苗字から取ってグループ名を「ホリィナ」としました。歌よりもつつい喋りすぎてしまうこともあります夫婦漫才になってしまったら、ぜひ座布団を一枚投げてください(笑)

杉浦綾（スギウラ工房）

新潟県出身。東京造形大学でデザインを学ぶ。CATV番組制作、映像制作の会社勤務経験後に愛知県立瀬戸窯業高校専攻科で陶芸を学ぶ。その後、2001年に砥部町にてスギウラ工房開窯。NPO法人いよココロザシ大学理事・副学長。2021年、松山市にオルタナティブスペース「学と芸 七分」オープン。グループ展、個展多数。

近藤光志(愛媛大学宇宙進化研究センター特任講師 宇宙プラズマ物理学)

岐阜県出身。太陽から惑星間空間、そして惑星磁気圏で起こるさまざまな現象を衛星観測とコンピュータシミュレーションを用いて研究している。知られざる真実、宇宙は爆発だらけ。まずは身近な宇宙の爆発を明らかにしなければ。

徳丸宗利（名古屋大学名誉教授）

松山市出身。郵政省（現総務省）の研究所で我が国初の宇宙天気予報プロジェクトに携わったことが切っ掛けで太陽風的重要性を知る。その後、名古屋大学の研究所で電波望遠鏡を用いて観測を行い太陽風の謎の解明に取り組んできた。現在は松山の自宅にて太陽風の研究を続けている。地球電磁気・地球惑星圏学会の田中館賞（2011年）、SGEPSSフロンティア賞（2018年）などを受賞。

新田伸也（筑波技術大学准教授 ブラックホール物理学、プラズマ物理学）

松山市出身。「紙とペン」を武器に、宇宙の果てまで解き明かそうとしている未だ「売り出し中」の出遅れた理論物理学者。ブラックホールエンジン、相対論的プラズマ風理論、磁気リコネクション、銀河風加速過程などを研究している。奥道後は幼き日の楽しい思い出が詰まった地。